

我孫子市公共下水道審議會會議概要

《平成19年3月2日開催》

我孫子市建設部下水道課

平成18年度我孫子市公共下水道審議会会議概要

会議の名称 平成18年度我孫子市公共下水道事業審議会
開催日時 平成19年3月2日(金) 午後1時30分から午後2時45分
開催場所 我孫子市役所 分館大会議室
出席委員 布留川委員、坂口委員、大嶋委員、松貝委員、宮城島委員、大野委員、
五反田委員、
欠席委員 下形委員、
事務局 中村課長、湯下課長補佐、小池補佐、新堀、中野、白坂、林、加藤、三井
議題 1 我孫子市公共下水道事業中期経営計画策定の報告について
2 その他

公開・非公開の別 公開

傍聴人数 0人

議事

松貝委員長： ただいまから我孫子市公共下水道事業審議会を開会します。
それでは、議題に入ります。我孫子市公共下水道事業中期経営計画策定の報告について、事務局の説明をお願いします。

中村課長： 前回の我孫子市公共下水道事業中期経営計画策定の中間報告での指摘事項の説明をいたします。次に、我孫子市公共下水道事業中期経営計画(案)について報告いたします。

(報告)

松貝委員長： 今の説明に対して質問がある方は、いらっしゃいますか。

布留川委員： 1ページの「1.2 下水道の現状」の2行目「日本住宅公団」となっているのが、「日本住宅公団」は、もうないので、「旧日本住宅公団」となるのではないか。その下、「昭和47年3月に手賀沼流域下水道計画を策定」となっているが、策定ではなくて、認可をされている。その次、「昭和48年2月に手賀沼流域関連公共下水道計画を策定」とあるが、「手賀沼流域関連公共下水道計画を策定」ではなく、「手賀沼流域下水道の関連公共下水道として」ではないか。2ページ「下水道整備率は、50.3%」となっているが、数字が違うのではないか。

中村課長： 修正します。下水道整備率は、確認します。

布留川委員： 8ページ「表1-8 不明水の負担量及び負担額」のとなりに、出典がでていないのはなぜか。他は、出ていない。次に11ページですが、なぜ、「表3-1」が先で説明文が後なのか。また、使用料の改定について議会や審議会を通してないのに、こんなに断定的な言い方をしているのか。表現を変えるべきではないか。

- 中村課長： 出典を削除します。「我孫子市中期財政計画」で繰入金を減額すると書かれているので、それを考慮すると改定せざるを得ない。なお、説明文は、前にし、表現についても考えます。
- 布留川委員： 13ページの「表3-3」は、手賀沼流域7市を入れたほうがよいのではないか。次に、19ページの「④不明水対策」3行目から5行目までは、1～2ページに同じことが書かれている。また、不明水対策について、8ページの表1-8などを見ると、対策が生温いといわれぬか。もっと積極的に推進すればいいといわれぬか。
- 中村課長： 13ページは、7市にします。19ページの3行目から5行目までは、削除します。不明水対策については、そう言われる可能性もありますが、やはり構成市との協議は、必要であり、難しいところです。
- 五反田委員： 20ページの「⑤建設コストの削減」について、リサイクル品を使うというが、どのようなところに使うのか、どれぐらいの量を使うのか、何割ぐらい使うのかなど具体的な数字を入れたほうがよいのではないかと。「他事業との連携による」とあるが、何割程度の費用負担を求めるのかなど具体例を入れたらよいのではないかと。「長距離曲線推進工法」は、マンホールが少なく済むので、取り入れたらいいです。また、「マンホールの代わりの曲管の使用」とは、どういうことか。
- 中村課長： 「マンホールの代わりの曲管の使用」という表現は、検討します。
- 五反田委員： 21ページの「環境保全等への取組」に、油類を下水に流さないようにするなどの対策を書いたらよいのではないかと。また、下水道工事では、工事の重要性をPRしたり、住民への説明が大切ではないかと。「手賀沼終末処理場」という名称であるが、茨城県や神奈川県では、「水再生センター」などの名称を使っている。「手賀沼終末処理場」は、そのままか。
- 布留川委員： 千葉県は、「処理場」のままです。国の認可をこの名称でもらっているからと思われる。20ページの技術的なことについてですが、千葉県の技術管理課でコスト削減についての資料があるので参考にしたらよいです。
- 松貝委員長： 他に何かないですか。
- 宮城嶋委員： 以前よりだいぶ細かく書かれて、わかりやすくなりました。
- 布留川委員： 2ページの普及率について数字は、きちんと確認してください。千葉県は、順位はつけていないはずと。
- 中村課長： 確認します。順位については、市の責任で順位をつけた表現にしていきたい。
- 五反田委員： 不明水対策について、300mmや400mmの管にテレビカメラを入れて調査は、しているのか。
- 中村課長： カメラを入れてやっている。汚水の噴出などの注意すべき地域、例えば若

松などは、やっている。すべてをやっているわけではない。

五反田委員： 汚水の噴出は、サイフォンのようになっていて、噴出すのか。

中村課長： 若松は、土管で弱い管が多い。

大嶋委員： 土管は、弱い。農業用水用の管も土管が多く、漏水が多い

松貝委員長： 他に何かありますか。ないようでしたら、次に「議題 2 その他」について

湯下補佐： 委員の方から、下水道工事の現場、処理場を見てみたいという要望がありました。視察するとき現場がやっていたら、現場を見て、やっていない場合は、手賀沼終末処理場の見学は、いかがでしょうか。

布留川委員： 終末処理場は、見学コースがあるので事前に手賀沼下水道事務所の管理課に連絡をください。下水道中期経営計画は、いつを目途にして作成するのか。審議会で審議するのは、これで終わりにして、事務局にまかせてよいのではないかと。

中村課長： 今回、指摘されたところを直して一度みなさんに送付しまして、それで修正等なければ、それで決定とし、修正のある場合は、個別に私の方に連絡をいただいて、検討します。

松貝委員長： 下水道のPRをした方がよいと思います。審議会のみなさんで処理場や下水道工事をやっているところに行き、実際に見てみてはどうでしょうか。下水道工事をやっているところに関心を持っている人もいます。

布留川委員： 処理場の見学は、子どもは多いが、自治会など大人は、少ない。一般の大人の人に見てもらいたい。処理場の大切さを理解してもらえ。

五反田委員： 年間何人ぐらいの見学者がいるのか。

布留川委員： 手元には資料がないので、詳細には把握していない。見学コースは、整備している。

松貝委員長： 現場は、4月ならやっているか。

湯下補佐： 4月、5月は、現場はあまりやっていない。いつ次回の審議会を開催するかは連絡は、あとでします。

松貝委員長： 他に何かありますか。ないようでしたら、これで閉会とします。